

世代の知をつなぐ地方創生とイノベーション

■主 催:日本学術会議若手アカデミー イノベーションに向けた社会連携分科会・若手アカデミー運営分科会

■共 催:愛媛大学

■後 援:愛媛県

■日 時:平成28年7月26日(火)13:30~16:30

■場 所:愛媛大学 南加記念ホール(愛媛県松山市)

開催趣旨:

地方創生のかけ声の下、地域産業の競争力強化による地方の活性化、さらには、その中心となる「ひと」の地方への集積を目的とした「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」が推進されている。また、第5期科学技術基本計画の4本の柱のひとつに、企業・大学・公的研究機関の本格的連携とベンチャー企業の創出強化等を通じたイノベーションを生み出すシステムの構築が挙げられており、「地方における産官学連携によるイノベーション創出」は、わが国全体の活性化において重要な意味を持つものと考えられる。ただし、これらの取り組みは、一朝一夕に結果が出るものではないため、長期的ビジョンを共有した世代間連携により、持続的に推進されるべきである。本シンポジウムでは、愛媛における地方創生とイノベーションに焦点をあて、産官学の協働と10年後を視野に入れた展望を議論する。

事前申込が必要です
(下記の参加申込HPから)

総合司会:高山弘太郎

(日本学術会議連携会員, 愛媛大学大学院農学研究科 准教授)

①【シンポジウムの開催にあたって】

吉田丈人(日本学術会議連携会員, 東京大学総合文化研究科広域システム科学系 准教授)

②【開会の挨拶】

大橋裕一(愛媛大学長)

③【基調講演】

「地域産業イノベーションの創出 - 地域創生への愛媛大学の取組 -」

仁科弘重(愛媛大学 理事・副学長・社会連携推進機構長, 植物工場研究センター長, 大学院農学研究科 教授)

【事例紹介】

④ 事例1【学術】「地域産業における産学連携～紙産業の事例から～」

内村浩美(愛媛大学 紙産業イノベーションセンター長, 大学院農学研究科・社会共創学部 教授)

⑤ 事例2【学術】「産学官連携による機能性食品開発」

菅原卓也(愛媛大学大学院農学研究科附属食品健康科学研究センター長, 大学院農学研究科 教授)

休憩

⑥ 事例3【行政】「愛媛県の取り組み」

関口訓央(愛媛県 経済労働部 産業支援局長)

⑦ 事例4【行政】「産学官連携で実現する「地域創生」のまちづくり」

大久保 武(西条市 企画情報部 地域創生室総合6次産業都市推進係長)

⑧ 事例5【民間】「地方における農業ICTによる起業」

遠藤 忍((株)テレファーム 代表取締役)

⑨ 事例6【民間】「産学連携による植物生育診断装置の開発」

岡田英博(井関農機(株) 先端技術部 主幹)

⑩【パネルディスカッション】

司会:吉田丈人

パネラー:講演者と学術会議若手アカデミー会員

⑪【閉会の挨拶】

狩野光伸(日本学術会議特任連携会員, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 副研究科長・教授)

平成28年

7月26日(火)

13:30~16:30

愛媛大学

南加記念ホール

松山市文京町3



駐車場はありません

公共交通機関をお使い下さい。

【JR松山駅から】

◆伊予鉄道市内電車:環状線(古町方面行き)
「赤十字病院前」下車

◆伊予鉄バス:東西線「愛媛大学前」下車

【松山市駅から】

◆伊予鉄道市内電車:環状線(大街道方面行き)
「赤十字病院前」下車

参加申込・お問い合わせ先

参加申込HP <https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo3/mpmailec/form.cgi>

○お問い合わせ: 高山・大内(愛媛大学大学院農学研究科) [E-mail: zinzai@agr.ehime-u.ac.jp]